

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
天童高原地区

平成31年2月
山形県天童市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	キャンプ場周辺利用者の減少率	%	-18.6%	0.0%	83.7%	確定 ● 見込み ○	○	あり なし				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	天童高原を整備したことによりキャンプ場としての魅力が増し、利用者の増加につながったものと考えられる。
指標2	スキー場利用者の減少率	%	-10.9%	-1.0%	-12.6%	確定 ● 見込み ×	×	あり なし ●	12.1%	H30年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	天童高原を整備したことによりスキー場としての魅力が増し、利用者の増加につながったものと考えられる。
指標3	天童市民の天童高原満足度	%	56.3%	60.7%	61.2%	確定 ● 見込み ○	○	あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	整備することにより、市民にとって以前より魅力を感じるような天童高原になったことで、目標の達成につながったものと考えられる。
指標4						確定 ● 見込み ○		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 ● 見込み ○		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	天童高原イベント入場客数	人	8,100	12,198	確定 ● 見込み ○					H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	全てのイベントが増加傾向にあり、天童高原における交流の拡大、活性化が確認することができる。また、イベントの浸透、増加に伴い、天童高原を訪れる観光客数も増え、「天童高原の四季折々の資源に磨きをかけ、付加価値を高めるとともに、多様な分野と連携し、交流人口の拡大を図る」という目的を満たしていると考えられる。
その他の数値指標2	キャンプ場・スキー場利用者の減少率	%	-13.8%	7.6%	確定 ● 見込み ○					H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	スキー場の利用者数については、気候条件に影響されやすいが施設整備が進んだ影響もあり年々増加傾向にある。キャンプ場についても同様で施設整備の影響で魅力が増し、利用者数が増加したのと考えられる。
その他の数値指標3	スキー場利用者の減少率(社会資本総合整備計画における数値指標目標)	%	-10.9%	-1.0%	-12.6%	確定 ● 見込み ○			12.1%	H30年4月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	スキー場周辺の施設が整備されたことにより魅力が増し、利用者の増加につながったものと考えられる。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	遊びの広場の施設のさらなる活用と、良好な環境の維持	遊びの広場に整備した大型遊具のオープニングイベントの開催。	市内の保育園、幼稚園、小学校等に周知を行った結果、約3000人の来場者があった。	天童高原の施設の認知度がまだ低いため、継続してPRを行う。
	自然体験施設のさらなる活用と、良好な環境の維持	自然体験施設の維持管理と補修更新。	キャンプ場来場者のリピータの増大。	天童高原の施設の認知度がまだ低いため、継続してPRを行う。
	一年を通して交流が絶えないような魅力溢れる場を維持する。	体験学習(ウォーキング・星空観測・そば打ち体験・スノーシュー体験等)を年間を通して開催。	体験学習の利用者が対前年比で4割増加。	新たな体験学習等の追加。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	天童高原の新しく整備された施設の認知度が低い	主要観光施設、交通拠点へのPRポスター等の設置。	PRの影響で市外ナンバーの来場者が増加。	天童高原の施設の認知度がまだ低いため、継続してPRを行う。
	未活用の地域資源の有効活用	商工部門との散策路の整備。	紅葉の時期に開催し、多数の参加があった。	開催数が少ないため、四季を通して行う。
	天童高原の良さをより多くの人に知ってもらい、何度でも訪れてもらえるような仕掛けづくりを図る	自然を生かしたイベント(星空観測等)の開催。	3回開催し、多数の参加があった。	

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項